

(6) 2016年 (平成28年) 5月12日 (木曜日)

先日、メジャーリーグの野球の試合を見にアナハイム球場に足を運びました。華やかな雰囲気の中、試合前の国歌斉唱となった際、中身は日本人の私がアメリカ人の観衆と一緒に起立し、自然に帽子を取り左胸に当てながら『星条旗よ永遠なれ』を口ずさむことができました。その時、遂にこの国の一員となったかという感慨と共に、今日に至るまでの人生の道のりが頭をよぎったのです。当地ロサンゼルスに渡ってからはや35年という年月が経ちました。子供の頃から憧れの地に到着した日の心の高ぶりが、昨日のように思い出されます。

この国には世界中から人が集まっています。日常的にさまざまな人種の人々と身近に接していると、ふと、自分が何故日本人として、また男性として生まれたのかが不思議に思える瞬間があるものです。私自身が望んだことでも、努力した結果でもない、まったく同様に他の人種の周りの人間も、彼らの意志とはまったく関係のない次元で

性として生まれたのかが不思議に思える瞬間があるものです。学生時代の友人に久しぶりで会ったり、写真を見た時に、ずいぶん老けたなど感じることはありません。もち論、それは自分自身にも当てはまることでしょう。客観的に言

けました。出張が多かった駐在員時代、ホテルの部屋に必ず置かれていた聖書が目に入ったものです。何度か手にすることはあっても、ついぞ読む機会がなかった。それが今や普段から最も多く読む書物となり、日曜には教会に通う生活がすっかり当たり前になってしまいました。渡米前には想像すらできなかったことで

りません。出張が多かった駐在員時代、ホテルの部屋に必ず置かれていた聖書が目に入ったものです。何度か手にすることはあっても、ついぞ読む機会がなかった。それが今や普段から最も多く読む書物となり、日曜には教会に通う生活がすっかり当たり前になってしまいました。渡米前には想像すらできなかったことで

南加キリスト教会連合

国籍は天国にありー

マックス山口

日本生まれ故郷に帰省する度にほっとします。子供の頃見慣れた山々が変わらぬ姿で迎えてくれます。そしてロサンゼルスに戻り、爽やかな空気に触れ、澄んだ青空を見ると、現在ここが自分の生活の場であることを再認識させられます。何でもアメリカが良く思えた頃は過ぎ、今はどちらの長所も短所も受け入れ

（オレンジコースト・フリーメンジスト教会）